

資料2-3

経営協議会の外部委員からの意見を法人運営の改善に活用した、主な取組事例

経営協議会は、国立大学法人に基づき、財務関係等の年間スケジュールを勘案しつつ、適切な時期に開催し、経営に関する重要事項を審議した。また、本学では学外有識者の有効活用の観点から、懇談会を数回にわたり開催し、意見交換を通じて学外委員から助言をいただいた。経営協議会の学外委員から医師不足問題や地域社会への貢献等への対応について要望並びに提言をいただき、医学部附属病院に医師9名、コ・メディカル職員10名を増員し、診療体制の充実を図った。また、大学病院連携型高度医療人養成推進事業に「都会と地方の協調連携による高度医療人養成」が採択され、大学病院及び地域医療の活性化を促進し、将来の医療を担う医師養成を推進する研修プログラムを開始した。

医師

診療科名	増員数
麻酔科	2
血液内科	1
循環器内科	1
血液浄化療法部	1
救命救急センター	1
心臓肺外科	1
肝胆膵外科	1
整形外科	1
合計	9

コ・メディカル職員

職種	増員数
薬剤部 薬剤師	2
検査部 臨床検査技師	2
放射線部 放射線技師	2
Eセンター 臨床工学技士	1
リハビリテーション部 理学療法士	1
リハビリテーション部 言語聴覚士	1
眼科 視能訓練士	1
合計	10

一般向けメニュー

トップページ

代表挨拶

取組の趣旨

連携体について

研修プログラム

募集要項

組織構成

リンク

関係者向けメニュー

テレビ会議



東京医科歯科大学

秋田大学

島根大学

「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」に選定

「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」は、国公立大学病院から申請されたプログラムの中から、質の高い専門医及び臨床研究者を養成し得る内容を有するプログラムに対し財政支援を行うことにより、大学病院及び地域医療の活性化を促進し、将来の医療を担う医師養成の推進を図ることを目的としています。この度、本院の『都会と地方の協調連携による高度医療人養成 - 「付加価値」を身につけるテーラーメイド研修 -』が採択されました。

新着情報

News & Topics

2009.01.10

ホームページを開設しました。

一般向けメニュー

[トップページ](#)

[代表挨拶](#)

[取組の趣旨](#)

[連携体について](#)

[研修プログラム](#)

[募集要項](#)

[組織構成](#)

[リンク](#)

関係者向けメニュー

[テレビ会議](#)

取組の趣旨

プログラムの理念・概要・特色

東京医科歯科大学、秋田大学および島根大学の医学部は、高度先進医療機関である附属病院と豊富な関連病院が連携し、それぞれの地域の医療を担う医師を輩出してきた。三大学は広域連携臨床研修プログラムを創設し、臨床研修における連携を既に開始している。この経験を踏まえ、新たに専門医および家庭医育成においても連携する。3大学が新たに提供する①短期パッケージ研修(3ヶ月、滞在費および交通費支給)および②長期パッケージ研修(1年)を活用することにより、付加価値のある専門医もしくは家庭医になるための研修が可能となる。また、3大学は(社会人)大学院を有し、後期研修の過程で発見した課題を、研修を継続しつつ研究に昇華・発展させる道も開いており、専門医資格に加え学位取得も可能である。さらに、首都圏と医療過疎地という全く異なる診療圏の医療が体験でき、大きく視野を展開できることも特色である。

取組の特色



1. Webベースの共通ポートフォリオに評価が蓄積され、研修先が変わっても一貫した指導の体制
2. ポートフォリオ評価により個々に、最適な“付加価値”を見出すことができる
3. “付加価値”を獲得する短期パッケージ研修(3ヶ月、派遣元に在籍、滞在費・交通費援助)および長期パッケージ研修(1年、派遣先職員となる)がある
4. 後期研修中に見出した問題点を研究に発展させる大学院があり、しかも研修と並行させることもできる(社会人大学院)
5. 首都圏と地方という全く異なる診療圏の医療が体験でき、大きく視野を展開できる

到達目標

1. 20年度は3大学の卒業数の50%以上である150名以上の参加と、参加者の基本領域学会の専門医(外科専門医等)のみならずサブスペシャリティとしての専門医(肝臓専門医等)取得を目標とする。21年度以降は新規参加者を加え漸次増加させ全体の参加者は250(H21年度)から400名程度(H24年度)を目標とする。なお、大学院への進学も積極的に推奨する。

プログラム成果

1. 従来連携していなかった3大学の連携により、質的にも量的にも充実した後期研修を提供できる。
2. ポートフォリオ評価、パッケージ研修ないし大学院進学により参加者個々にとって付加価値の高い研修を提供できる
3. 本プログラムの研修医療圏には医療過疎地域も含まれ、一定の貢献が期待される。
4. 首都圏と医療過疎地という全く異なる診療圏の医療が体験でき、大きく視野を展開できる。

評価体制

1. 3大学の事業責任者およびコーディネータからなるプログラム点検委員会を組織し、定例テレビ会議にて、連携上の問題点を協議する。
2. 各大学はその関連医療機関代表者および外部委員も参加する連携運営委員会を設置し、運営状況を検

